

# “農地・水・環境保全” 水土里のネットワーク通信

第125号

2020. 1. 1発行  
島根県農地・水・環境保全協議会

## 未来へつなぐ 地域の誇り

島根県農林水産部参事 高橋裕司

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、令和になって初めてのお正月を健やかに迎えられたことと思います。

また日頃から、組織の皆様には熱心に活動頂いておりますことに、敬意を表する次第でございます。

さて、昨年度、多面的機能支払制度の5カ年間の施策評価を国で行われましたが、いろいろな視点での施策の効果事例が紹介されています。

### 【地域資源の適切な保安全管理】

全国で725haの遊休農地が解消。見回りや保全活動により、5年間の推定で3.3万haの遊休農地発生を抑制。

### 【農業用施設の機能増進】

特に水路については、懸念される耐用年数超過に伴う機能低下に対し、目地詰めなどの軽微な補修からコンクリート水路への更新など大がかりな工事まで行うことにより、施設の長寿命化が図られ、農業生産活動の継続や周辺地域への浸水被害防止に貢献。

### 【農村環境の保全・向上】

菜の花・レンゲ・シバザクラなどの植栽により地域の憩いの場となったり、地域外から人を呼び込む観光資源になるなど景観形成・生活環境保全に貢献。また、コウノトリの飛来エリアの拡大などや生き物調査の結果、水生生物の種類の増加など生態系保全の効果が発現。

### 【地域コミュニティの維持・強化】

本交付金に取り組んでいる集落の寄り合い回数は取り組んでいない集落に比べ約1.6倍あり、地域の話し合いなどが活発化するとともに、子供が参加する地域活動が増え、農業や郷土への関心を深めることにつながった。

### 【地域農業への貢献】

参加者の約3割を非農業者が担い、地域ぐるみの活動を行うことで担い手への負担を軽減できるとともに、交付金の話し合いがきっかけとなって農地集積が拡大。

これら、様々な効果を含めた多面的な機能を広く国民が享受するという名目で法制化され、事業制度として行っている「多面的機能支払交付金」ですが、地域の皆様方にとってはそんなたいそうなお題目というより、目の前に生い茂る草を早く刈らないと、漏水しそうな水路をなんとかしないとといった、ごく自然に湧き上がる使命感に駆られて活動されているのも実態であり、本当に頭が下がる思いです。

島根県の農業集落3,061のうち、担い手不在となっている集落が1,094存在し、県としてはこれを解消すべく、担い手の育成に積極的に取り組んでいくこととしています。多面的機能支払の活動もその一助になると思っていますので、この制度がさらに使いやすくなるように皆様の声を承りながら、島根の農地・水・環境が次世代にしっかりと引き継がれていくように尽力したいと考えています。

それぞれの地域ごとに様々な想いがあり、地域の誇りを胸に日々活動されている皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



# 突撃レポート

第16弾

## 地域の歩みをDVDに



なかくみA WE (津和野町)で庶務を担当されている山下さんは、これまでに撮りためておられた活動写真を、音楽に乗せて紹介するDVDを作成されました。山下さんにお話を伺いました。

### DVDを作成されたのはどういった理由からですか

私も、「後どのくらいお手伝いできるか」とこの頃思うようになり、組織の活動の記録を残しておきたいという思いで作成しました。

### 作成されたDVDは、何かお使いになられましたか

11月の「第72回木部地区敬愛文化祭」の喫茶室で披露しました。次回は、新年の互礼会で上映する予定です。



### DVDを見られた方の反応など、作成後のご感想があればお聞かせください

文化祭には他地区から来られた方もあり、珍しいこともあり好評でした。ただ、タブレット講習で少し習っただけなので、とても十分とは思えません。反省ばかりですが今の私の能力ではこれが限界です。でも自分たちの活動してきたことを記録として残すことは大事だと思います。

### 特に力をいれて取り組んでいらっしゃる活動等は何でしょうか

昨年から、獣害防止設置に積極的に取り組んでいます。昨年は、作業道は自主施工で、設置作業は業者に委託しましたが予想外に経費が掛かりました。

今年度は、地形的にも大変ですが少人数でも作業しようと頑張っています。周辺の組織が、既に設置を終了していますので緊急の課題です。



### 活動を始められて13年目になりますが、地域の様子はいかがですか

ご多分に漏れず、高齢化が進み共同活動参加者が減り、十分な活動が出来なくなりました。先の豪雨でアジサイ植栽地が被害を受けましたが、まだ、一部そのままになっている所もあります。でも、多面的機能交付金のおかげで崩壊集落の危機を遅らせて居る事も実感として感じています。



### 活動を継続されるうえで、特に困っていらっしゃる事などありましたら教えてください

重複しますが、高齢化の影響で共同活動が難しくなっていることです。入り作農家との関係も難しい問題があり十分ではありません。

### 地域への思いや多面的機能支払制度への感想など、何かありましたらお聞かせください

後継者がいない事は私たちの集落だけではなく、現実問題どうすることも出来ません。多面的機能交付金制度が無かったら、集落の現状を維持することは無理と思います。

出来れば組織の統合も必要と思います。水土里ネットが中心となって推し進めていただきたいと思います。生涯現役で頑張りますのでご指導よろしくお願いします。

### DVDのBGMは「若者たち」“君の行く道は 果てしなく遠い～” チョット切くなります。山下さんこれからも頑張ってください。お忙しいところありがとうございました。



# 令和元年度事務実務研修会開催

島根県農地・水・環境保全協議会では、令和元年度事務実務研修会を12月4日松江市、6日浜田市、12日隠岐の島町で開催し256組織、339名の方が参加されました。

研修会では

- 「加算措置の新設」について
- 「事務の簡素化に伴う活動計画書から実施状況報告書までの様式の大幅な変更」についての説明を行い、県からは
- 「県内の取り組み状況及び活動組織の取り組みの継続」について等の情報提供がありました。

ご協力いただきましたアンケートでは、「事務の簡素化が図られていると感じましたか」の設問に多くの方が「簡素化されたと感じる」と回答がありました。

研修会でテキストとして使用した「令和元年度 多面的機能支払交付金の活動の手引き」を、研修会に参加されなかった組織にも、今回同封しております。年度末に向け、報告書作成の際にご利用いただければと思います。



松江会場



## ようこそ相談室へ



### イノシシ捕獲用の檻について

**Q イノシシ捕獲用の檻を購入（または自作）しようと思いますが、交付金が使えますか。**

A 使えます。

檻を購入しイノシシを捕獲する取組みについては、共同活動「多面的機能の増進を図る活動」の中の「農地周りの環境改善活動の強化」で実施できます。

また、サルを追い払うロケット花火についても、この活動で実施できます。（使用については十分ご注意ください。）

**Q イノシシの檻の管理を委託したいが、交付金が使えますか。**

A 組織（構成員）で実施する場合は、捕獲施設の維持管理としての見回り、草刈り、簡易補修に日当として支払うことは可能です。（農地維持：「鳥獣害防護柵等の保守管理」に該当します。）

また、組織で対応できないと判断されれば、外部委託は可能です。この場合は個別に相談（市町村、県、協議会）をお願いします。

**Q 捕獲のための工サ代に交付金が使えますか。**

A 使えます。

**Q 捕獲後の処理、運搬について、交付金が使えますか。**

A 使えます。なお、市町村等からの奨励金などの利益がある場合は、活動組織の収入として会計に繰り入れ、多面的機能支払の活動費のみに支出しなければならないのでご注意ください。



## 活動組織の皆さんへ

### 活動記録・金銭出納簿を一緒に入力してみませんか

1月になりました。12月までの活動や支出の整理を私たちと一緒にしませんか？  
活動されたメモや領収書を見ながら一緒に、活動記録や金銭出納簿を入力していきましょう。（年度途中で一度整理しておく、足りない活動も分かります。）

今年度初めて事務を担当される方はもちろんですが、毎年報告書作成に苦労されている方も是非ご連絡ください。  
連絡先 0852-32-4141 深田まで



### ★1月、2月の予定★

1月23日(木)

令和元年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 阿波のくに（徳島県）

ちょっと一息  
おたよりコーナー

## 地域 みんなでつくる農村風景

### 西荒島整備十ウ(安来市)

私たち西荒島整備十ウは、今年度から多面的機能支払交付金に取り組みました。  
この対策に取り組んだことをきっかけに、地域の皆さんで新たに2つの活動を始めました。  
一つは、農道沿いのシバザクラの植栽、もう一つは休耕田のセイタカアワダチソウの駆除です。  
シバザクラの植栽には、女性の方がたくさん参加され賑やかな活動となりました。セイタカアワダチソウの駆除は5人の有志で行いました。皆さんの協力で短時間に終わり、田んぼ周りの風景もスッキリしました。



整備十ウの皆さん活動  
お疲れさまです。  
シバザクラが咲くのを楽  
しみにしています。



### ～担当者の声～

皆さんに毎年お届けしているカレンダー、2020年は「天地の農（あめつちのみのり）」カレンダーです。日本の中に息づく農業や、農業に欠かせない行事など、1年間の地域文化や農業の歴史についてのシーンを写真で切り取り、文章を交えながら紹介しています。楽しみながら農業の歴史が学べるカレンダーとなっています。（協議会 S）

### ～多面的機能支払交付金に関することは～

#### ◆島根県農地・水・環境保全協議会

〔事務局〕水土里ネット島根

Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

#### ◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ

[http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo\\_taisaku/](http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/)

#### ◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



Tel 0852-22-6262



小俣賀地区農地・水・環境保全会  
(益田市)



全国の活動組織の事例はこちらから

多面事例

検索



「農村ふるさと通信」はこちらから

農村ふるさと

検索

